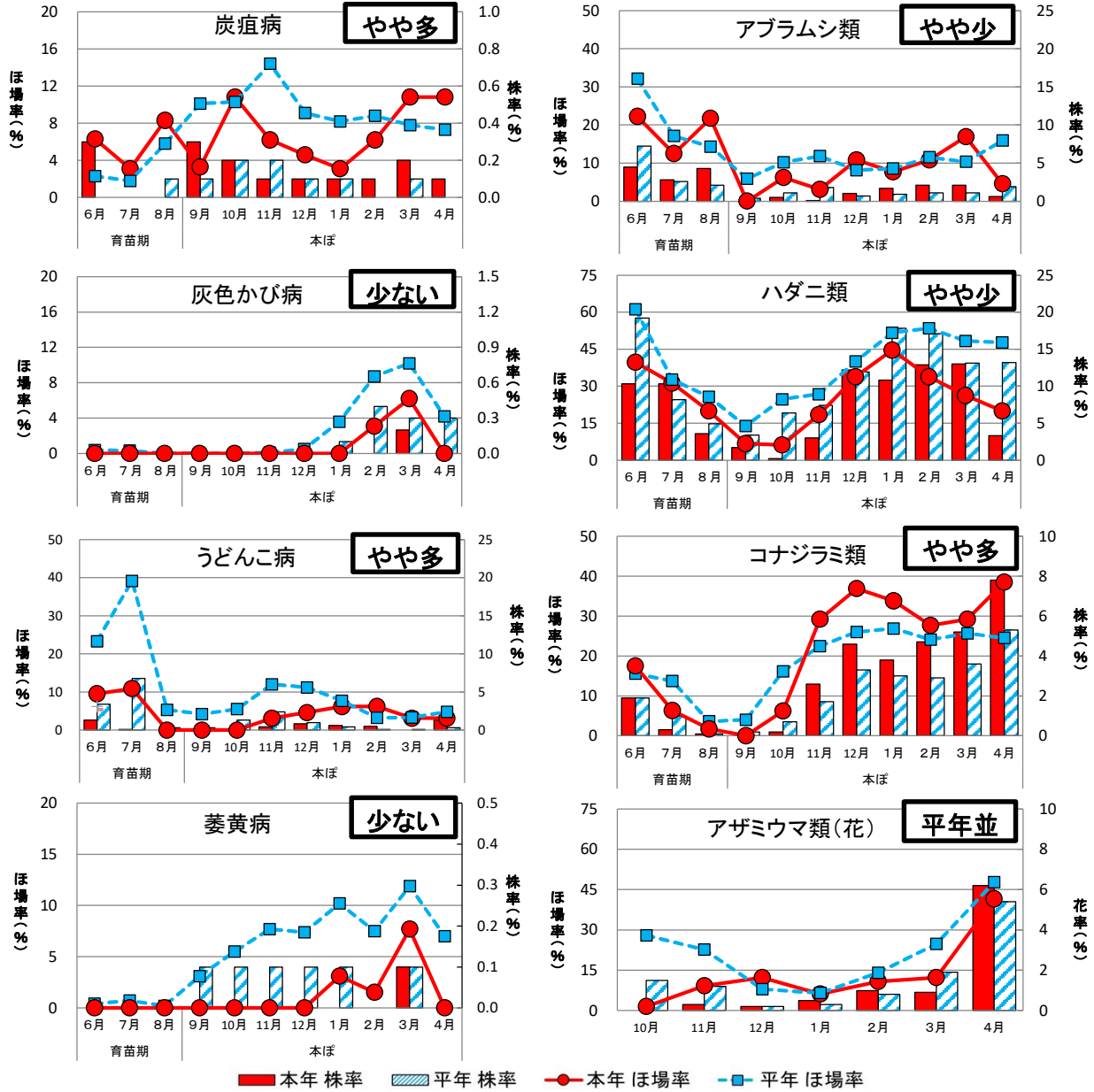


■ 病害虫の発生状況 【総調査ほ場数：65 か所】



※ほ場あたり25株調査 ※株率(%)：発生株数／調査ほ場数×25株 ※ほ場率(%)：発生が確認されたほ場数／調査ほ場数

■ 今月の防除ポイント

— 育苗時の防除 —

下記の適切な育苗管理と定期的な薬剤防除を行いましょ。

かん水：過剰かん水を防ぐ。水のはねかえりのないかん水を行う。
(炭疽病、疫病、根腐病、菌核病対策)

通風：通風を良くする。(灰色かび病、菌核病対策)

侵入防止：防虫ネットの展張、除草を行う。
(アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類対策)

罹病株の処分：抜き取りを行い、ほ場外で処分する。
(炭疽病、萎黄病対策)

「とちあいか」「とちおとめ」品種別病害虫発生調査結果について

令和5年産のいちごの病害虫発生調査結果について、主要8病害虫の発生量の推移を品種別に集計しました。集計対象は「とちあいか」「とちおとめ」の2品種を栽培している耕作者の圃場としました。

萎黄病は、前年産と同様、強い特性を持つ「とちあいか」では発生が認められませんでした。他の病害虫は発生傾向が前年産と異なり、品種による発生の違いは明らかではありませんでした。

病害虫発生調査結果の品種別集計は今後も継続して行う予定です。

【調査期間：2022年6月～2023年4月 ほ場数：22～35ほ場（月ごとに変動）】

■ 主要8病害虫の品種別発生推移

